

# 高知県感染症発生動向調査（週報）

2012年 第36週（9月3日～9月9日）

## ★ お知らせ

### ○ ヘルパンギーナに注意して！

定点医療機関からの報告が、定点当たり前週の1.10から1.20と増加しました。ヘルパンギーナに対する予防接種はありません。外から帰った後、食事の前、トイレの後などに手洗いをすることが最も大切です。また、治った後も3～4週間は便にウイルスが排泄されるため、幼稚園、保育園、学校など集団生活ではタオルを共用することは避けましょう。

### ○ マイコプラズマ肺炎に注意して！

定点医療機関からの報告が、定点当たり前週の0.63から0.50と減少しましたが、報告定点以外の医療機関からの患者情報が多数報告されています。マイコプラズマに対する予防接種はありません。手洗い、うがいなどの一般的な予防方法の励行と、患者との濃厚な接触を避けることが大切です。

### ○ 風しんの届出がありました。

全国的に風疹が流行しており、特に東京、兵庫、大阪、三重、愛知で多発しています。高知県でも、第30週に続いて第36週に2例目の届出がありました。感染予防としては、手洗い、うがい、咳エチケットと、予防接種を受け免疫をあらかじめ獲得しておく事です。定期予防接種対象の方は、予防接種を受けましょう。また、妊娠初期に風疹に罹患すると、出生児に先天性風疹症候群を発生することがあります。これから妊娠する可能性のある女性は、妊娠前に予防接種を受けておくことが大切です。任意の予防接種になりますので、かかりつけの医師とよく相談してください。

## ★ 県内での感染症発生状況

定点把握感染症（上位疾患） ↑：急増 ↗：増加 →：横ばい ↘：減少 ↓：急減

疾病名	推移	定点当たり報告数(人)	県内の傾向
感染性胃腸炎	<span style="color:blue">↘</span>	1. 8 3	安芸、中央東で増加したが、全体では減少している。
ヘルパンギーナ	<span style="color:orange">→</span>	1. 2 0	中央西、中央東で増加した。中央西では引き続き注意報値を超している。
RS ウイルス感染症	<span style="color:magenta">↗</span>	0. 5 3	高知市、安芸、幡多、中央東で増加し、全体でも増加している。
突発性発疹	<span style="color:blue">↘</span>	0. 5 0	高知市で増加したが、全体では減少している。
マイコプラズマ肺炎	<span style="color:blue">↘</span>	0. 5 0	幡多で増加し、幡多、高知市で注意報値を超している。全体では減少しているが、注意報値を超している。

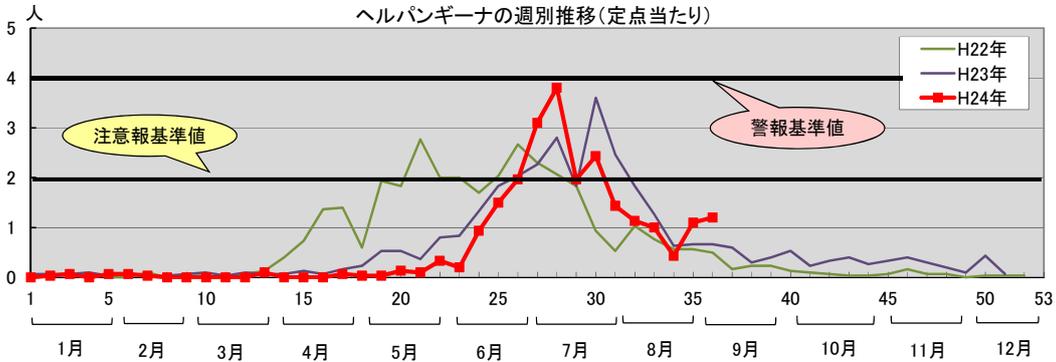
## ★ 地域別感染症発生状況



★ 気を付けて！

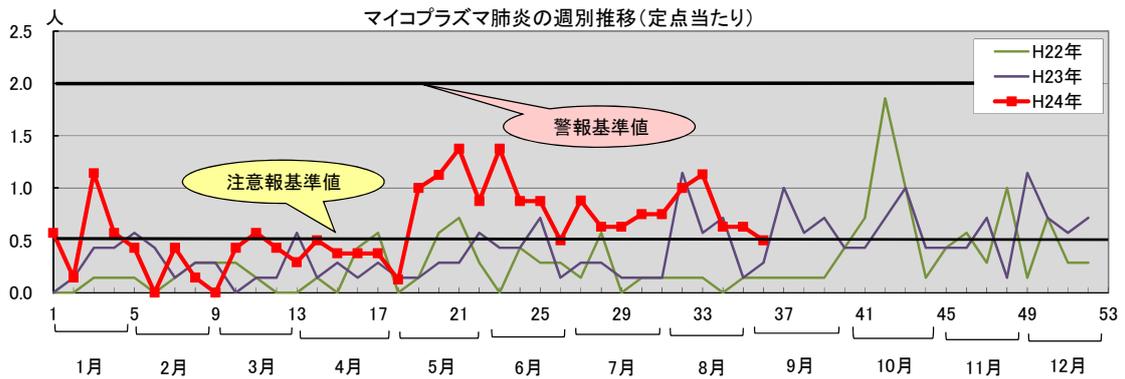
○ ヘルパンギーナ：1.20（注意報値：2.00 警報値：4.00）

定点医療機関からの報告は定点当たり 1.20（前週：1.10）と増加した。中央西（3.33）、中央東（0.57）で増加し、中央西では引き続き注意報値を超しており、まだまだ注意が必要です。感染を拡げないために、手洗い、うがいを行きましょう。



○ マイコプラズマ肺炎：0.50（注意報値：0.50 警報値：2.00）

定点医療機関からの報告では定点当たり 0.50（前週：0.63）と減少したが、注意報値を超している。幡多（1.00）で増加し、高知市（0.60）、幡多で注意報値を超している。病原体定点からは、肺炎マイコプラズマ（*Mycoplasma pneumoniae*）が 8 例検出されている。感染を拡げないために、手洗い、うがいなどの一般的な予防方法の励行と、患者との濃厚な接触を避けるように気を付けましょう。



★ 病原体検出情報

前週搬入

受付週	臨床診断名	年齢	性別	保健所	ウイルス、細菌の検出状況
36	ヘルパンギーナ	1	女	高知市	Coxsackievirus A12
36	急性気管支炎	8ヶ月	男	中央東	Coxsackievirus A5
36	不明発疹症	1	男	中央西	Echovirus 9
36	下気道炎	8ヶ月	女	高知市	Parainfluenza virus 3
36	百日咳	3	女	高知市	<i>Bordetella pertussis</i>
36	百日咳	2ヶ月	女	高知市	<i>Bordetella pertussis</i>
36	百日咳	1	男	須崎	<i>Bordetella pertussis</i>
36	百日咳	30	女	須崎	<i>Bordetella pertussis</i>
36	百日咳	4	女	幡多	<i>Bordetella pertussis</i>
36	百日咳	5	男	高知市	<i>Mycoplasma pneumoniae</i>
36	マイコプラズマ	13	男	中央東	<i>Mycoplasma pneumoniae</i>
36	マイコプラズマ	4	男	中央東	<i>Mycoplasma pneumoniae</i>
36	マイコプラズマ	4	女	中央東	<i>Mycoplasma pneumoniae</i>
36	マイコプラズマ	12	女	中央東	<i>Mycoplasma pneumoniae</i>
36	マイコプラズマ	6	男	須崎	<i>Mycoplasma pneumoniae</i>
36	マイコプラズマ	10	男	須崎	<i>Mycoplasma pneumoniae</i>
36	マイコプラズマ	7	男	須崎	<i>Mycoplasma pneumoniae</i>
36	—	1	男	中央東	Respiratory syncytial virus B

前週以前に搬入

受付週	臨床診断名	年齢	性別	保健所	ウイルス、細菌の検出状況
35	不明発疹症	5	男	須崎	B19 virus
35	単純ヘルペス性発疹	5	男	中央西	Herpes simplex virus NT
35	不明発疹症	9ヶ月	男	須崎	Human herpes virus 6
35	不明発疹症	5	男	須崎	Human herpes virus 6
35	不明発疹症	3	男	須崎	Human herpes virus 6
35	不明発疹症	5	女	須崎	Human herpes virus 7
35	感染性胃腸炎	28	男	高知市	Norovirus GII NT
35	急性気管支炎	9ヶ月	男	高知市	Parainfluenza virus 3
35	感染性胃腸炎	2	男	幡多	Salmonella Virchow
35	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2	男	高知市	Streptococcus pyogenes T1
35	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	3	男	高知市	Streptococcus pyogenes T1

\* 「保健所」について、患者の居住地を管轄する保健所名を記載する。

★ 全数把握感染症

類型	疾病名	件数	累計	内 容	保健所
4 類	日本紅斑熱	1	2	70 歳代 (女)	安 芸
5 類	梅毒	2	6	30 歳代 (男) 2 名	中央東
	アメーバ赤痢	1	2	50 歳代 (男)	幡 多
	風しん	1	2	30 歳代 (男)	中央東

全数報告削除

類型	疾病名	件数	削除週	内 容	保健所
2 類	結核	1	35 週	90 歳代 (男)	高知市

★ 定点医療機関からのホット情報

保健所	医療機関	情 報
中央東	早明浦病院小児科	マイコプラズマ肺炎 2 例 (2 歳男 PA 法×5120、5 歳男) 百日咳 1 例 ( 6 歳男 予防接種歴なし 山口株×1280 東浜株×80 )
	あけぼの小児クリニック	マイコプラズマ肺炎 4 例 (4 歳 2 人、12、13 歳) RS ウイルス感染症 1 例 (2 歳)
	吉本小児科	マイコプラズマ肺炎 1 例 (9 歳男)
高知市	けら小児科・アレルギー科	カンピロバクター腸炎 2 例 (7 歳男、3 歳女) マイコプラズマ肺炎 2 例 (4 歳男、10 歳女)
	福井小児科・内科・循環器科	マイコプラズマ肺炎 2 例 (5、7 歳男) 带状疱疹 1 例 (5 歳女)
中央西	くぼたこどもクリニック	ヘルパンギーナ 1 例 (1 歳女：高知市)
	石黒小児科	口唇ヘルペス 1 例 (11 歳女)
須 崎	もりはた小児科	マイコプラズマ肺炎 1 例 (7 歳男)
幡 多	幡多けんみん病院小児科	サルモネラ腸炎 <i>Salmonella</i> O7 型 3 例 <div style="display: flex; align-items: center; justify-content: center;"> <span style="font-size: 2em; margin-right: 5px;">{</span> <div style="text-align: left;"> <p>1 歳 4 ヶ月：四万十市</p> <p>10 歳 1 ヶ月：土佐清水市</p> <p>9 歳 10 ヶ月：土佐清水市</p> </div> <span style="font-size: 2em; margin-left: 5px;">}</span> </div> <p>百日咳 1 例 (4 歳：大月町 LAMP 法 (+))</p>
	さたけ小児科	ヘルペス歯肉口内炎 1 例 (5 歳女) 膿痂疹 1 例 (4 歳男) 带状疱疹 1 例 (5 歳男)

## ★ 全国情報

### 第34週 (8/20～8/26)

1類感染症：報告なし

2類感染症：結核352例

3類感染症：細菌性赤痢4例、腸管出血性大腸菌感染症161例

4類感染症：デング熱8例、日本紅斑熱6例、マラリア3例、レジオネラ症7例、レプトスピラ症1例

5類感染症：クロイツフェルト・ヤコブ病3例、後天性免疫不全症候群12例、梅毒12例、急性脳炎6例、  
ジアルジア症4例、髄膜炎菌性髄膜炎1例、劇症型溶血性レンサ球菌感染症3例、破傷風3例、  
アメーバ赤痢8例、バンコマイシン耐性腸球菌感染症1例風しん73例、麻しん9例

報告遅れ：細菌性赤痢1例、デング熱1例、劇症型溶血性レンサ球菌感染症2例、急性脳炎3例  
マラリア1例、レジオネラ症1例、

### ◆ RSウイルス感染症

RSウイルス感染症 (respiratory syncytial virus infection) は、病原体であるRSウイルスが伝播することによって発生する呼吸器感染症である。年齢を問わず、生涯にわたり顕性感染を繰り返し、生後1歳までに半数以上が、2歳までにほぼ100%の児がRSウイルスの初感染を受けるとされている。乳幼児期においては非常に重要な疾患であり、特に生後数週間～数カ月間の時期においては母体からの移行抗体が存在するにもかかわらず、下気道の炎症を中心とした重篤な症状を引き起こす。

潜伏期間は2～8日、典型的には4～6日とされている。発熱、鼻汁などの上気道炎症が数日間続き、その後下気道症状が出現してくる。咳嗽、鼻汁などの上気道症状が2～3日続いた後、感染が下気道、とくに細気管支に及んだ場合には特徴的な病型である細気管支炎となる。細気管支炎例では、炎症性浮腫と分泌物、脱落上皮により細気管支が狭くなるに従って、呼気性喘鳴、多呼吸、陥没呼吸などを呈するようになる。喀痰の貯留により無気肺をおこすことも珍しくない。心肺に基礎疾患を有する児においては、しばしば遷延化、重症化する。発熱は初期症状として普通に見られるが、呼吸状態の悪化により入院が必要となった際には体温は38℃以下になるか、あるいは平熱となっている場合が多い。RSウイルス感染症は、乳幼児の肺炎の原因の約50%、細気管支炎の50～90%を占めるとの報告もある。また、低出生体重児や、心肺系に基礎疾患があったり、免疫不全が存在する場合には重症化のリスクは高く、临床上、公衆衛生上のインパクトは大きい。重篤な合併症として注意すべきものには無呼吸、ADH分泌異常症候群、急性脳症等がある。

RSウイルスの主な感染経路は飛沫感染と接触感染であるが、感染力が強く、また再感染例等で典型的な症状を呈さずにRSウイルス感染と気付かれない軽症例も存在することから、家族間の感染や乳幼児の集団生活施設等での流行を効果的に抑制することは困難である場合が多い。RSウイルス感染症の発生動向については、感染症法改正 (2003年11月5日施行) により対象疾患となり、全国約3,000の小児科定点医療機関から毎週報告がなされている。診断は臨床症状のみでは不可能であることから、届出基準としてウイルスの分離・同定、迅速診断キットによる抗原検出、血清抗体検出 (中和反応または補体結合反応) による病原検査が必須とされている。臨床現場で最も簡便な迅速診断キット検査については、医療保険適用として入院例のみが対象であったが、2011年10月より従来入院例に加えて乳児およびパブリズマブ製剤※1の適応となる患者※2に対しても適用されることとなり、その後は外来診療の場においても活用されていることと推察される。

RSウイルス感染症の小児科定点医療機関からの報告数は、例年冬期にピークが見られ、夏期は報告数が少ない状態が継続していたが、2011年、2012年と2年連続して7月頃から増加傾向がみられている。2012年第34週の報告数は1,164例であり、第28週以降7週連続して増加が続いている。また2004年以降の同時期の報告数としては、最多であった昨年 (898例) を更に上回った。都道府県別の報告数をみると、福岡県 (254)、東京都 (146)、鹿児島県 (95)、宮崎県 (68)、大阪府 (63)、沖縄県 (49)、広島県 (42) の順となっている。25の都府県で前週の報告数よりも増加しており、特に福岡県では大きな増加が認められている。

2012年第1～34週の累積報告数 (31,790) の年齢群別割合をみると、0歳46.3% (0～5カ月21.0%、6～11カ月25.3%)、1歳31.7%、2歳11.7%、3歳5.8%、4歳2.4%の順であり、1歳以下で全報告数の約70%以上を、3歳以下で全報告数の90%以上を占めているのは、2004年以降変わっていない

RSウイルス感染症は冬期を中心に流行する感染症であり、例年12月か又は翌年の1月にそのピークを迎えている。しかし感染症発生動向調査からは、近年流行の立ち上がりが早まってきているものと推察されており、2012年第31週以降の報告数は、これまでで最も立ち上がりが早かった2011年の報告数をも上回っている。RSウイルス感染症は、その重篤性や合併症から特に乳幼児において臨床的および公衆衛生的に極めて重要な感染症であり、今後の同疾患の報告数の推移についてはより一層の注意が必要である。

.....

高知県感染症情報(58定点医療機関)

第36週 平成24年9月3日(月)～平成24年9月9日(日)

高知県衛生研究所

定点名	疾病名	保健所	第36週							計	前週	全国(35週)	高知県(36週末累計) H24/1/2～H24/9/9	全国(35週末累計) H24/1/2～H24/9/2
			安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多						
インフルエンザ	インフルエンザ								( )	1 ( 0.02)	1,225 ( 0.25)	16,407 ( 341.81)	1,631,069 ( 332.26)	
小児科	咽頭結核熱			2	1	4			1	8 ( 0.27)	5 ( 0.17)	917 ( 0.29)	137 ( 4.57)	37,103 ( 11.82)
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1	1	1			2		3	8 ( 0.27)	12 ( 0.40)	2,301 ( 0.73)	1,660 ( 55.33)	203,814 ( 64.93)
	感染性胃腸炎	5	8	33	1	2			6	55 ( 1.83)	69 ( 2.30)	9,683 ( 3.09)	6,293 ( 209.77)	755,372 ( 240.64)
	水痘	4	1	7					2	14 ( 0.47)	24 ( 0.80)	1,198 ( 0.38)	1,775 ( 59.17)	137,566 ( 43.82)
	手足口病		1	3					1	5 ( 0.17)	5 ( 0.17)	2,527 ( 0.81)	100 ( 3.33)	39,262 ( 12.51)
	伝染性紅斑		5	4						9 ( 0.30)	10 ( 0.33)	251 ( 0.08)	798 ( 26.60)	18,341 ( 5.84)
	突発性発疹	1	1	9			1		3	15 ( 0.50)	18 ( 0.60)	2,348 ( 0.75)	506 ( 16.87)	61,955 ( 19.74)
	百日咳		1	2	1	3			1	8 ( 0.27)	8 ( 0.27)	94 ( 0.03)	302 ( 10.07)	2,885 ( 0.92)
	ヘルパンギーナ		4	16	10	1			5	36 ( 1.20)	33 ( 1.10)	3,550 ( 1.13)	727 ( 24.23)	100,708 ( 32.08)
	流行性耳下腺炎			6					1	7 ( 0.23)	11 ( 0.37)	1,183 ( 0.38)	594 ( 19.80)	52,751 ( 16.81)
RSウイルス感染症	1	4	10					1	16 ( 0.53)	9 ( 0.30)	1,998 ( 0.64)	652 ( 21.73)	33,793 ( 10.77)	
眼科	急性出血性結核炎			1						1 ( 0.33)	( )	10 ( 0.01)	1 ( 0.33)	366 ( 0.54)
	流行性角結核炎									( )	1 ( 0.33)	465 ( 0.68)	28 ( 9.33)	13,089 ( 19.28)
基幹	細菌性髄膜炎			1						1 ( 0.13)	( )	13 ( 0.03)	8 ( 1.14)	328 ( 0.70)
	無菌性髄膜炎									( )	2 ( 0.25)	25 ( 0.05)	17 ( 2.43)	586 ( 1.25)
	マイコプラズマ肺炎			3				1	4 ( 0.50)	5 ( 0.63)	513 ( 1.09)	151 ( 21.57)	14,150 ( 30.30)	
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)								( )	( )	12 ( 0.03)	10 ( 1.43)	561 ( 1.20)	
計 (小児科定点当たり人数)	12 ( 6.00)	28 ( 3.98)	97 ( 8.36)	16 ( 5.32)	9 ( 4.50)	25 ( 4.80)	187 ( 6.04)			28,313	30,166 ( 793.28)	3,103,699		
前週 (小児科定点当たり人数)	13 ( 6.50)	28 ( 4.01)	100 ( 8.59)	22 ( 7.33)	13 ( 6.50)	34 ( 6.80)		213 ( 6.83)						

注 ( )は定点当たり人数。

高知県感染症情報(58定点医療機関) 定点当たり人数

定点名	疾病名	保健所	第36週							計	前週	全国(35週)	高知県(36週末累計) H24/1/2～H24/9/9	全国(35週末累計) H24/1/2～H24/9/2
			安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多						
インフルエンザ	インフルエンザ									0.02	0.25	341.81	332.26	
小児科	咽頭結核熱			0.29	0.09	1.33			0.20	0.27	0.17	0.29	4.57	11.82
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.50	0.14	0.09			1.00	0.60	0.27	0.40	0.73	55.33	64.93	
	感染性胃腸炎	2.50	1.14	3.00	0.33	1.00	1.20	1.83	2.30	3.09	209.77	240.64		
	水痘	2.00	0.14	0.64				0.40	0.47	0.80	0.38	59.17	43.82	
	手足口病		0.14	0.27				0.20	0.17	0.17	0.81	3.33	12.51	
	伝染性紅斑		0.71	0.36					0.30	0.33	0.08	26.60	5.84	
	突発性発疹	0.50	0.14	0.82		0.50	0.60	0.50	0.60	0.75	16.87	19.74		
	百日咳		0.14	0.18	0.33	1.50	0.20	0.27	0.27	0.27	0.03	10.07	0.92	
	ヘルパンギーナ		0.57	1.45	3.33	0.50	1.00	1.20	1.10	1.13	24.23	32.08		
	流行性耳下腺炎			0.55				0.20	0.23	0.37	0.38	19.80	16.81	
RSウイルス感染症	0.50	0.57	0.91			0.20	0.53	0.30	0.64	21.73	10.77			
眼科	急性出血性結核炎			1.00				0.33		0.01	0.33	0.54		
	流行性角結核炎								0.33	0.68	9.33	19.28		
基幹	細菌性髄膜炎			0.20				0.13		0.03	1.14	0.70		
	無菌性髄膜炎								0.25	0.05	2.43	1.25		
	マイコプラズマ肺炎			0.60			1.00	0.50	0.63	1.09	21.57	30.30		
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)									0.03	1.43	1.20		
計 (小児科定点当たり人数)	6.00	3.98	8.36	5.32	4.50	4.80	6.04			793.28				
前週 (小児科定点当たり人数)	6.50	4.01	8.59	7.33	6.50	6.80		6.83						

発行：高知県感染症情報センター（高知県衛生研究所）  
〒780-0850 高知市丸ノ内2-4-1（保健衛生総合庁舎2階）  
TEL：088-821-4961 FAX：088-825-2869